

2003 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 4 年 3 月 1 9 日 作 成)

委員会名	コスト管理小委員会	主 査 名：橋 本 真 一
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済本委員会	委員長名：嘉 納 成 男
設 置 期 間	2 0 0 1 年 4 月 ~ 2 0 0 5 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>本小委員会は、建築生産プロセス全般（企画・設計・施工・維持保全）におけるコスト管理に焦点を当て、コスト管理の現状把握や国際比較による構造分析を行い、我が国の建築生産において、あるべきコスト管理のシステムを提案することを目的とする。</p> <p>（年度別活動計画）</p> <p>初年度：コスト管理に関する概念の整理及び現状の調査分析。各分野におけるコスト管理実務者に対するヒアリングを行う。</p> <p>2 年度：コスト管理手法の現状把握及び構造分析。国際比較によるコスト管理のシステムの分析を行う。</p> <p>3 年度：コスト管理のシステムや専門職能などについて、体系的な内容の整備を行う。</p> <p>4 年度：建築コスト管理の基礎的研究、技術的研究、社会的研究のそれぞれの領域における研究成果を整理し、報告書及び資料を作成する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査：橋本真一（建設物価調査会） 幹事：岩松準（佐藤工業） 奥山裕史（三井造船）</p> <p>委員：秋山哲一（東洋大）、磯部正（国土交通省）、大島和義（ナカノコーポレーション）</p> <p>楠山登喜雄（フタバエンジニアリング）、須田松次郎（大木建設）、竹内希（フジタ）</p> <p>徳永勇雄（明治大：10 月に逝去）、中山志メ松（日本設計）、南島雄二（建築コスト管理システム研究所）、原田誠（OPM）、松本光平（明海大）、吉田倬郎（工学院大）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>コスト管理手法 WG：コスト管理の概念整理の結果を踏まえて、実務者による WG を設置し、生産プロセスに応じてコスト管理手法の研究を行う</p>	
2003 年度予算	7 0 , 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	4 月 1 6 日 (1 1 名)、5 月 3 0 日 (1 0 名)、6 月 1 8 日 (6 名)、7 月 1 7 日 (7 名)、9 月 1 0 日 (9 名)、1 0 月 2 1 日 (8 名)、1 0 月 2 4 日 (6 名)、1 1 月 2 6 日 (5 名)、1 2 月 1 8 日 (7 名)、1 月 2 9 日 (8 名)、2 月 1 9 日 (6 名)、3 月 1 9 日 (5 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コスト七不思議」の問題解決へ向けた検討。コスト管理手法、契約方法、ダンピング、設計とコストの関係、概算コスト、プライスとコストの差異などについて議論し、意見を一覧表にまとめた。 ・コスト管理方法、契約方法、プロフェッション、コストの教育制度等に関する海外との比較検討を行った。 ・実際の新築現場や異業種（造船）のコスト管理手法を調査するため、フィールドワークを 2 回実施した。 ・書式 WG 設置の準備を行った。
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>1 年間の活動を通じて、建築コスト管理を取り巻く様々な問題が浮き彫りになってきた。体系的整備までは完了していないが、方向性は見いだせたものとする。</p>
その他評価すべき事項	<p>コスト管理の異業種や海外との比較は、国際化を考慮した我が国の建築コスト管理手法を提案する上で、大変参考になった。</p>